

夏祭り



主な予定

- 10月 1日(土) 赤い羽根共同募金運動開始
- 10月 3日(日) 赤い羽根共同募金出発式、児童生徒作品コンクール表彰式
- 10月15日(土)・16日(日) 古本バザール
- 10月22日(土) ハッピーコンサート(福祉の里)
- 10月31日(日) 春日井市社会福祉大会
- 11月12日(日) 第36回 福祉のつどい
- 11月18日(金) 秋の価格なっとく野菜市(第一希望の家)
- 11月19日(土) ハッピーコンサート(福祉の里)
- 11月23日(水) 地区社協対抗3世代交流グラウンドゴルフ大会
- 12月 1日(木) 歳末たすけあい募金運動開始
- 12月 3日(土) レインボープリマ(福祉の里)
- 12月11日(日) 合同クリスマス会
- 12月17日(土) クリスマスコンサート(福祉の里) 車椅子バスケットボール体験教室(福祉文化体育館)
- 1月 7日(土) 新春茶会「一期里大笑」(福祉の里)
- 1月21日(土) 春日井市日本舞踊協会公演(福祉の里)
- 1月28日(土) 災害救援ボランティア体験研修会
- 2月 4日(土) 福祉映画会
- 2月18日(土) 演芸フェスタ(福祉の里)
- 3月 1日(水)～3日(金) 総合福祉センターまつり(作品展示会)
- 3月 5日(日) サン・アビ「レク・スポ」交流会(福祉文化体育館)
- 3月 8日(水)・9日(木) 総合福祉センターまつり(芸能発表会)
- 3月10日(金)～20日(日) 手づくり鉄道模型電車展示会(福祉の里)

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします



平成28年度
共同募金目標額

36,000,000円

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。赤い羽根共同募金は、貴重な民間福祉財源として、地域福祉の推進に大きな役割を担っています。市民のみなさまの善意を心よりお待ちしております。

平成27年度
共同募金実績額
32,261,830円内訳

| | | | |
|------|---------------------|-------|-------------------|
| 戸別募金 | 23,028,123円 (71.4%) | 職域募金 | 748,407円 (2.3%) |
| 街頭募金 | 173,307円 (0.5%) | 興行募金 | 584,466円 (1.8%) |
| 法人募金 | 4,315,600円 (13.4%) | その他募金 | 742,664円 (2.3%) |
| 学校募金 | 1,493,644円 (4.6%) | 歳末募金 | 1,175,619円 (3.7%) |

平成27年度 共同募金実績額 32,261,830 円の使いみち…

高齢者のために

5,312,000円 (16.5%)

- ◆ 高齢者等サロン事業
- ◆ 小地域ネットワーク事業
- ◆ 老人クラブへの支援

障がいのある方のために

2,804,000円 (8.7%)

- ◆ おもちゃ図書館事業
- ◆ 障がい者団体への支援

共同募金運動推進のために

1,462,000円 (4.5%)

- ◆ 共同募金運動推進活動



おかげさまで70周年



子どもたちのために

3,555,000円 (11.0%)

- ◆ 子育て支援サロン事業
- ◆ 子ども会への支援
- ◆ 保育団体等への支援

歳末たすけあいに

1,112,619円 (3.4%)

- ◆ 福祉のつどいの開催
- ◆ 合同クリスマス会の開催

県全域の福祉推進のために

5,856,000円 (18.2%)

- ◆ 社会福祉施設の整備費
- ◆ 社会福祉団体の事業費
- ◆ 募金運動推進活動費
- ◆ 災害等準備金

地域福祉推進のために

12,160,211円 (37.7%)

- ◆ 地域福祉フォーラムの開催
- ◆ 福祉映画会の開催
- ◆ 福祉電話事業
- ◆ 地区社会福祉協議会(モデル事業等)への支援
- ◆ 広報啓発事業(社協だよりの発刊、情報誌「はるる」への掲載)
- ◆ ボランティア団体への支援





古本バザール 10月15日(土)・16日(日)に春日井まつりの中で開催します!!



古本バザールは、赤い羽根共同募金運動の興行募金として、開催しています。
古本の売上金は、すべて共同募金として寄附されます。是非、お越しください。

古本を提供していただける方へ

市内の郵便局（簡易郵便局を除く）、市内の東春信用金庫、東海労働金庫 春日井支店、第一希望の家、第二希望の家

10月7日(金)まで ※土日祝日を除く。営業時間内にお持ちください。

総合福祉センター、福祉の里レインボープラザ、介護サービスセンター

10月9日(日)まで

※介護サービスセンター、福祉の里レインボープラザは、休館日(月曜日)を除く。
午前8時30分から午後5時までにお持ちください。



提供していただきたい本

ハードカバー本（単行本）・ソフトカバー本（薄表紙）・文庫本・マンガ・絵本・児童書 等

※破損した本・辞書・百科事典・雑誌(週刊 月刊)は除きます。

ボランティアとして協力していただける方へ

【期 間】 10月6日(木)、7日(金)、11日(火)から16日(日)までの期間でご都合のよい日にご協力ください。

【場 所】 総合福祉センター・市役所市民サロン

【内 容】 古本の仕分けやバザール当日のお手伝い 等

【申 込】 10月5日(水)までに春日井市共同募金委員会（☎84-4199）へお電話ください。

古本を購入していただける方へ

【日 時】 10月15日(土)、16日(日)
午前10時から午後4時まで

【場 所】 市役所市民サロン（市役所正面玄関南側）



●10月15日（土）午前10時から11時頃まで、大変な混雑が予想されます。その間に限り、時間指定の入場整理券を午前9時30分から市民サロン前で配布し、入場を制限いたします。皆さまのご協力をお願いいたします。

※営利目的の購入はご遠慮ください。 ※マイバッグの持参にご協力をお願いします。

申し込み
問い合わせ

春日井市共同募金委員会

春日井市浅山町1-2-61
(市社会福祉協議会内)

☎ (0568)84-4199 FAX (0568)84-3933

E-mail : kasugai-kyoubo@haru-syafuku.or.jp

ちょっとお助けサービス

活動レポート

春日井市社会福祉協議会では、65歳以上の高齢者や障がい者の世帯を対象に、「困った時はお互いさま」という助け合いの精神に基づき、軽易な困りごとに対応する「ちょっとお助けサービス事業」を実施しています。ボランティアとしてご登録いただいた協力者の方が利用者のご自宅へ出向き、無償でお手伝いをします。

その活動の様子と、協力者・利用者からの声をご紹介します！

協力者

ちょっとしたお助けで喜んでもらい、力になれば、やりがいにつながります。



利用者

目が見にくくなってきたし、高い所の作業は不安なので、本当に助かります。

お引き受けできないこと

- ◆ 介護保険や障がいサービスでの対応が可能なこと
- ◆ 急を要すること
- ◆ 他のサービスでの対応が適当なこと [草取り、剪定、大掃除等]
- ◆ 危険なこと
- ◆ 生き物に関すること
- ◆ 不在者宅での活動
- ◆ 協力者（ボランティア）が見つからない活動
- 等

※サービスのご利用には、利用登録手続きが必要となります（年度ごとに登録料500円が必要です）。

協力者（ボランティア）募集中!!

地域の高齢者や障がい者の困りごとをお手伝いしてみませんか??



主な活動内容

電球交換、すだれの取り付け、エアコンのフィルター清掃等30分程度の活動

活動できる方

地域における助け合いの趣旨に賛同し、自分のできる範囲で手助けをできる方
年齢・性別は不問です。

活動報酬等について

無償です。ボランティア保険に加入していただきます。（市社協が負担）

活動をお願いする時間

月曜から金曜までの午前9時から午後5時までのうち、活動できる時間
（土日、祝日、年末年始はお休みです）

登録の申し込み・
問い合わせ

地域活動支援課 ☎ 85-4321 FAX 86-3156

新規!!

高齢者等サロン事業のご紹介

高齢者等 サロン事業 とは

概ね65歳以上の高齢者や障がい者の社会参加を目的として、身近にある公民館等で健康体操やレクリエーション等を実施する地区社会福祉協議会の事業です。

サロンの運営を一緒に担っていただく協力員、サロンの参加者とも募集中です。お問い合わせください。お待ちしております。

大泉寺地区社会福祉協議会 サロンいずみ

- 開催日時 毎月第3木曜日 午前10時から正午まで
- 開催場所 大泉寺町公民館



ひもを使ったマジックを体験

サロン協力員から一言

サロンの参加者さんが町内行事にも参加くださるようになりました。このサロンを通じて住民同士が、お近付きになっていると感じています。

参加者の感想

ゴミ出し等、道で会えば挨拶をすることはあってもゆったりと話をすることはなかなか難しいです。でも、このサロンはそれができるので楽しいです。

下市場地区社会福祉協議会 下市場サロン会

- 開催日時 毎月第4火曜日 午後1時30分から午後3時30分まで
- 開催場所 下市場公民館

サロン協力員から一言

参加者さんだけでなく、協力員も一緒になって楽しんでいます。楽しい雰囲気だけでなく、お互いの健康を気遣う参加者さんの様子を拝見することができ、サロンを始めてよかったと思っています。

参加者の感想

ここに参加するようになって、知り合いも多くなり、生活の範囲が広がりました。



ボランティアグループによる健康体操

問い合わせ

地域活動支援課 ☎ 85-4321 FAX 86-3156

ボランティアセンター事業 中間報告



ボランティアセンター マスコットキャラクター ぼらら

ボランティアセンターでは、ボランティアを始めたい人、ボランティアについて知りたい人などに向けた講座を開催しています★
では、上半期に行った講座を紹介します。

青少年ボランティア スクール

7～8月

小学5年生～高校生を対象にボランティアについて学び、体験する講座を行いました。



【事前学習】

ボランティアの心得を学びました。お互いを知ることができるように行った交流ゲームでは、勇気を振り絞って声をかける姿がみられました。



活動体験の春日丘高校インターアクトクラブのお兄さん、お姉さんと一緒に、ペティさんの家神領(高齢者施設)に訪問しました。



【活動体験】

ボランティアさんと一緒に、枝切りバサミで花壇の手入れをしている様子

みんな始めは緊張していたけど、最後は楽しく、活動してたね。

体験しているみんなは、目がキラキラしてたよ!!



オトナのボランティア スクール

9月

18歳以上を対象にボランティアについて学び、体験する講座を行いました。



実際にボランティアを行っている団体から話を聞いたり、ボランティアとNPOの違いについて学びました。先輩ボランティアの話には興味深く耳を傾けていました。参加者の真剣な表情からは、これからのボランティア活動への熱意が伝わってきました。



ボラン★タイム ボランティア月間 (9月1日～30日)

ちょいボラ体験として、「未使用文具の回収活動」と「公園遊具のペンキ塗り」を実施しました。



【ペンキ塗り体験】

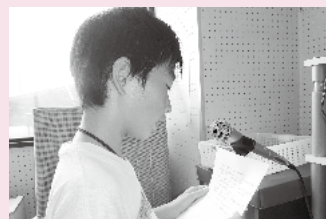
身近な公園の遊具を、自分できれいにするなんて、すごくワクワクしました。(体験者談)

あなたが体験したちょいボラもそれも立派なボランティアだよ!!



ボラン★タイム期間中は、ボラン★タイムを広く知っていただくために、総合福祉センターで館内放送を行いました。

館内放送の収録には、青少年ボランティアスクールの受講生2名が手伝ってくれました。



篠木小学校6年
近藤 肇くん



南城中学校1年
曲木奈津香さん



詳しくは、ホームページ及びブログをご覧ください。
順次情報をお伝えします。

春日井市 ボラセン ブログ

検索



第36回

福祉のつどい



障がい者も高齢者も子どもも大人も
みんなが主役！
ぜひ、ご参加ください！

と き 11月12日(土)
午前9時30分から午後3時まで
場 所 春日井市総合福祉センター

学生ボランティア募集

福祉のつどいを、運営スタッフと一緒に盛り上げてみませんか!!

- 【対象者】** 市内在住もしくは在学の中学生・高校生・大学生
- 【活動時間】** ①午前9時30分から午後3時まで
②午前9時30分から午後0時30分まで
③午後0時30分から午後3時まで
- 【活動内容】** 模擬店の陳列、アトラクションの手伝い、会場清掃など
- 【申し込み・問い合わせ】**
地域活動支援課
☎85-4321 FAX 86-3156
E-mail : chiiki-fukushi@haru-syafuku.or.jp

フリーマーケット出店者募集

- 【開催時間】** 午前10時から午後3時まで
【開催場所】 福祉文化体育館(室内)
(総合福祉センター敷地内)
- 【募集店数】** 28区画(1区画:縦2.5m×横2.5m)
【出店料】 500円(全額を春日井市共同募金委員会を通じて、地域の社会福祉向上に役立たせていただきます)
- 【出店資格】** 18歳以上の個人・団体で、販売を生業としていない春日井市在住の方
- 【申込方法】** 申込書をメール、FAX、郵送または直接本会へ提出してください。
- 【申込期限】** 10月14日(金) 必着
- 【申し込み・問い合わせ】**
総務管理課 ☎486-0857 浅山町1-2-61
☎84-1011 FAX 84-6397
E-mail : tudoi@haru-syafuku.or.jp

※詳しくは、ホームページをご覧ください。
<http://www.haru-syafuku.or.jp/>

今月の社協さん

Q 担当業務は？

障がいのある方の生活支援を担当しています。一人ひとりの利用者さんに合った個別支援計画を立て、より良いサービスを提供し、充実した生活を送るお手伝いができるよう、取り組んでいます。

Q 仕事のやりがいは？

自分の伝えた言葉が、利用者さんのその日の調子を左右してしまうことがあり、言葉の選び方や伝え方の大切さと難しさを日々痛感しています。曖昧な言葉を使わないことや、見通しが立てられるような伝え方をすること、そして何より認められる言葉をたくさんかけることを心がけています。一人ひとりに合った伝え方をすることは難しいですが、自分の伝えた言葉が利用者さんに届いた時や、施設で楽しく過ごすお手伝いにつながった時にはとても充実感を感じます。

また、笑顔の多い職場であり、日々利用者さんの屈託のない笑顔が見られることも、やりがいになっています。

第一希望の家 村上 美咲さん
入職3年目



Q 今後の抱負を

私ができるお手伝いはまだ小さなことですが、小さくてもできることを積み重ね、利用者さんの生活を支援していきたいです。また、そのための知識や技術を身に付けられるように、より多くのことを学んでいきたいです。

Q 趣味は？

家族全員ラーメンが大好きで、休日のラーメン屋さん通いが欠かせません。

10歳の長男は痩せの大食いで、ラーメンはいつも大盛りか替え玉の追加をした上に、炒飯や餃子などをペロリと食べてしまいます。我が家は息子が2人いるので、将来のエンゲル係数が今から心配です…。一人の休日も、おしゃれなカフェより、専ら一人ラーメンを楽しんでいます。以前よりは女性も増えましたが、やはりラーメン屋さんは男性が多いですね。でも、そのような場所にもいつの間にか慣れてしまって、一人でラーメンをすすめる姿は草食系男子よりも豪快かもしれません(笑)

社会福祉協議会への御寄附ありがとうございました。(平成28年6月～8月)

- 松本千鶴子 ●高井成 ●松井晴美 ●加藤大輝 ●(医)喜峰会 東海記念病院
●愛知県小商業協同組合春日井支部 ●名古屋ヤクルト販売㈱ ●匿名4件

(順不同・敬称略)

広報担当の取材日記

社協は
こんなことを
やってます



今回は社協が実施している「にこにこヘルプサービス」という事業に密着してきました。利用者さんのお家で、実際の支援の様子を見せていただき、利用者さんとにこにこヘルパーさんからお話を伺いました。

「にこにこヘルプサービス」では、介護保険の利用は出来ないけれども、少しの家事の手助けがあれば、これからも安心して自宅で生活が続けられるという高齢者等の世帯に、にこにこヘルパーを派遣しています。社協は利用者さんとにこにこヘルパーさんのつなぎ役を担っています。



週に1回など定期的に支援をするケースや、病気や事故等による一時的な支援も行っています。

掃除や洗濯などの家事援助の他に、簡単な部屋の模様替えや草取りなども行っています。



にこにこヘルパーさんは、地域の支え合い活動に賛同していただいた地域住民です。資格は不要で、社協は料理講習会や研修会を開催し、より良い支援ができるようににこにこヘルパーさんを支えています。



【利用者さんのお話】

自分ではできないことをやってもらえるので、とても助かっています。また、にこにこヘルパーさんは話し相手にもなってくれています。

【にこにこヘルパーさんのお話】

健康を維持して、地域で立派に生活してみえる利用者さんを見ると、自分の将来の目標や励みになります。

取材を終えて

一通りの支援を終えたにこにこヘルパーさんが利用者さんの前に座り、活動報告を行うとともに、私が取材に来たことについて利用者さんとおしゃべりを始められました。すると、取材があったこともあってか、やや硬かった利用者さんの表情が自然と和らいでいきました。

お二人が楽しそうにおしゃべりをされている雰囲気、とてもあたたかみを感じました。この事

業において、日常の家事援助を行うのと同じぐらい、大切な時間であったように思います。将来、家事援助はロボットでできるかもしれませんが、私を感じたあのあたたかい雰囲気は人でないとはできません。

社協ではいろいろな「つながり」をつくり、広げていくことで、誰もが安心して暮らせるあたたかいまちづくりに取り組んでいます。今回の取材で、人と人がつながることの大切さに、改めて気づかせていただきました。

サービスを受けたい方、にこにこヘルパーとして協力して下さる方、お気軽にお問い合わせください。

問い合わせ

福祉サービス推進課 ☎ 84-7219